

九州大学名誉教授

吉澤 一成

この数年、日本人が連続してノーベル賞を受賞しており、技術立国を標榜する我が国にとってはいよいよ嬉しいことでもあります。このように大きな業績を上げた人々がいったいどのような幼児体験を有しているのかを知ることは興味深いことです。多くの体験談によると、優れた科学者は子どもの頃に小動物や昆虫に接し、その体験を通して自然に興味を持ち始めるようです。優れた資質と幼い頃の自然体験の結びつきが後に科学の分野で開花したのでありましょう。

当然のことながら、潜在能力を引き出すためには子どもを自由気ままにさせておいてよいはずはありません。優れた資質にさらに磨きをかけるためには、子どもにとってのよい環境、すなわちご両親の温かい庇護とよい教育が必要なことは言うまでもありません。子どもの成長にとっては、心に不安もなく落ち着いて学ぶことのできる環境が最も重要なことでありましょう。その意味で、より広い視野に立つ教育を受けさせるべく、いわゆる有名校に子どもを進ませたいとご両親が願うのは当然でありましょう。

ここにまとめられた教材は有名校受験のために編成されたものではありませんが、同時に子どもの多様な能力を高めるための優れた教育資料であります。このテキストを両親と楽しみながら読みすすめるうちに、子どものもつ潜在能力が自然に高められるであります。本書を通じて、子どもの教育にとって最も大切なこと、すなわち学ぶことの楽しさを体験することでしょう。